

事業名	男女共同参画推進費	財務コード (事業)	525412
-----	-----------	---------------	--------

細事業名	地域発男と女とのフォーラム事業費補助金
------	---------------------

担当部課室	企画県民 部 県民生活・男女参画 課 男女共同参画 担当(内線)	1611
-------	----------------------------------	------

I 事業の概要

実施期間	始期 H14 年度 ~ 終期 年度						
実施主体	補助(地域発男と女とのフォーラム実行委員会)						
事業の目的	<table border="1"> <tr> <td>誰(何)を対象に</td> <td>その対象をどのような状態にして</td> <td>結果、何に結びつけるのか</td> </tr> <tr> <td>一般県民</td> <td>固定的な性別役割分担意識の解消など、男女共同参画社会の実現の必要性について認識が深められる</td> <td>実践的な行動による男女共同参画の推進</td> </tr> </table>	誰(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか	一般県民	固定的な性別役割分担意識の解消など、男女共同参画社会の実現の必要性について認識が深められる	実践的な行動による男女共同参画の推進
誰(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか					
一般県民	固定的な性別役割分担意識の解消など、男女共同参画社会の実現の必要性について認識が深められる	実践的な行動による男女共同参画の推進					
事業の内容 ※主に 23年度	<p>○事業概要 地域に密着した男女共同参画の取組を推進するため、「地域発男と女とのフォーラム」の開催に対して助成する。 補助先: 地域発男と女とのフォーラム実行委員会 補助率: 定額</p> <p>○県民フォーラム</p> <p>H23 日時:平成23年6月9日(木) 会場:県立文学館 内容:パフォーマンス(寸劇)、シンポジウム(パネルディスカッション)、展示による活動紹介</p> <p>H24 日時:平成24年6月11日(月) 会場:甲府市総合市民会館 内容:基調講演、シンポジウム(パネルディスカッション)、展示による活動紹介</p>						
根拠法令等	地域発男と女とのフォーラム事業費補助金交付要綱						

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	22年度	23年度		24年度	25年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標 来場者数	347	385	385	392(実績)	460	活動指標 目標設定の考え方 22年度実績の毎年約10%増 データの出典等 事業実績報告書(参加人数)
	活動指標達成率 (実績値/目標値)		100.0 %			
成果指標 「フォーラムの内容 を活用する」と答 えた参加者の割合	71.1%	80%	70.4%	72.8(実績)	80%	成果指標 目標設定の考え方 「フォーラムの内容を地域・家庭・職 場、団体で活用する」と回答した者 割合80%を目標値とする。 データの出典等 参加者アンケート調査
	成果指標達成率 (実績値/目標値)		88.0 %			
決算額、予算額	524	610		610	500	成果指標によらない成果
(千円) うち一財額	524	610		610	500	
所要時間(直接分)	63 時間	63 時間		63 時間	63 時間	
所要時間(間接分)	時間	時間		時間	時間	
所要時間計	63 時間	63 時間		63 時間	63 時間	
人件費コスト 単位:千円 (@2,021円×所要時間)	127	127		127	127	

III これまでの事業の見直し・改善状況

H16年度、全体研修会・地区別研修会の名称を「地域発男と女とのフォーラム」に1本化。H17年度から、9地区で実施していた地区別フォーラムを5地区実施に再編。H17年度から、県民フォーラムを土曜日に開催し、就業している人にもできるだけ参加できるように変更。H19年度から6月に全県版で実施、地区別は廃止。(市町村合併により市町村の行政規模が拡大し、市がフォーラム等を自主的に実施、また、市町村そのものが広域化し、従来広域的な観点から実施していた地区フォーラムの意義が薄れたため)H20年度から、事務局を県から民間団体へ移管

IV 活動量と成果の判断(平成23年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)		
数値判定 H23年度 活動指標 達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 ※数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定 H23年度 成果指標 達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 ※必ず記入すること
b	b	アンケート調査の中で、フォーラムの内容を地域・家庭・職場、活動団体で活用すると答えた方が、全体の約7割を占め、目標達成率は88%であることから、意図した成果を上げている。 しかし、来場者の内訳では、今回初めて参加した方が約3割と参加者の広がりは認められるものの、来場者全体の年齢構成は20～40歳代が2割、50～70歳代が8割弱とバランスを欠いている。 また、個別意見では、「時間が短かった」「具体的な話を聞きたい」「目的を絞って欲しい」などがあり、県民向けに開催することから総花的な内容になるのはいたしかたないものの、講演、シンポジウムをあわせて行ったために散漫なイメージに映ったこととは否めない。

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

V 見直しの必要性(平成25年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)		
見直しの必要性	説 明	IV以外の判断項目
有	フォーラムの開催目的は、全体的に男女共同参画を推進する意識醸成の機会とすることであることから、幅広い層からの参加や県民に理解が進展するよう、テーマや講師等、内容の充実を図るとともに、開催PRについても実行委員会の人的パワーを一層活用していく必要がある。こうした考えの下、フォーラム実行委員会に対して要望・意見を伝えることとする。 また、補助金額については、平成19年度見直し時の金額とほぼ同額で推移してきているため、経費節減観点から同種事業との比較等を行い予算額の縮減を図ることとする。	i, l

・「IV以外の判断項目」の欄

○必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) ○官or民(f.民間等実施) ○官の役割分担(g.市町村等へ移管) ○効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) ※行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	IV以外の判断項目

・「IV以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

VI 見直しの方向(平成25年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
実施方法等の変更	実行委員会への参加を企業や大学など、対象をこれまで以上に広げて呼びかけるとともに、実行委員会参加にあたってアンケート調査を行い、要望等の集約に努める。また、これまで実行委員会全体で行ってきたものを主だった役割を4つの部会に振り分け、それぞれの部会が創意のもとに決定して進めていくことにより、各実行委員が主体的に活動できるよう運営方法を変更する。 また、経費(補助内訳)についても一部内容の見直し(減額)を行い、効果的な執行に努めることとする。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、V見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。